

共立女子大学 国際学部学生による企画展示

ビーズの描く生活模様

2010/11/29/Mon~2011/1/13/Thu
9:30~17:30

除く 日曜・祝祭日 及び12/28/Tue~1/5/Wed
入場無料



共立女子大学
神田一ツ橋キャンパス 本館1階展示室

東京都千代田区一ツ橋2-2-1 03-3237-2425
東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄三田線・都営地下鉄新宿線
「神保町」駅下車A8出口から徒歩1分
東京メトロ東西線「竹橋」駅下車1b出口から徒歩3分

共立女子大学 国際学部学生による企画展示

ビーズの描く生活模様

ビーズは、ガラスや石、木、プラスチックなどで作られ、中空の管や玉など様々な形状のものがあります。現代においては、既成の衣服やアクセサリなどの装飾として用いられるほか、趣味の手芸アイテムとしても欠かせません。

本学では、ビーズをほどこした作品を数多く所蔵しています。20世紀初頭に流行したアール・デコ様式のドレスには、ビーズがふんだんに用いられ、直線的なVネックやプリーツスカートのドレスを美しく華やかに彩りました。また、女性が身に付ける服飾品だけでなく、日常において使用する食器や文房具、掃除道具にまでも様々な色や大きさのビーズを組み合わせ、人々の生活を彩ってきました。

今回の展示では、ビーズが用いられた様々な作品を展示して、その美しさや魅力についてご覧いただきたいと思います。



刺繍ドレス
20世紀前半



木彫寒暖計
20世紀

